

伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、三重県側に広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

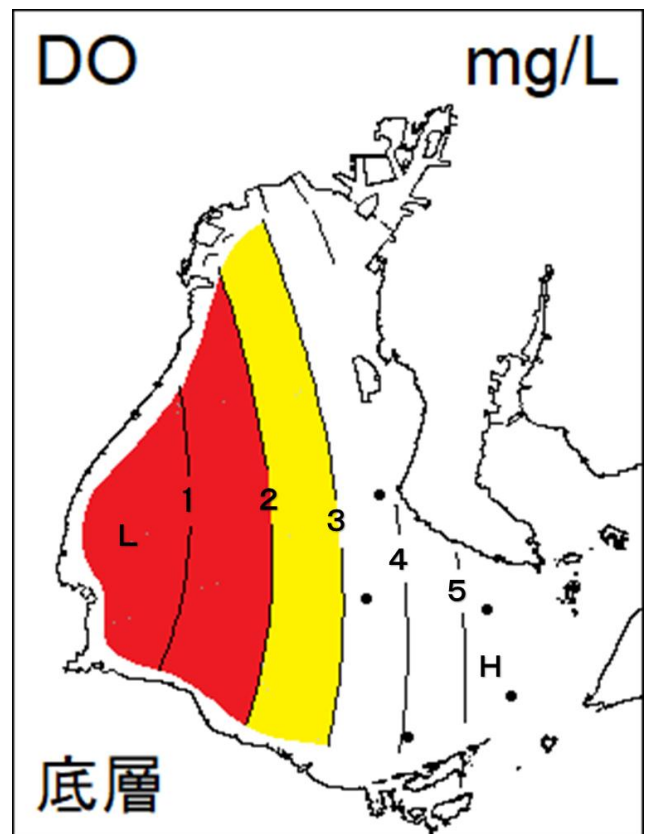
9 月 20 日の調査結果

9 月 20 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.8 ～ 25.3℃、10m で 25.2～25.7℃、底層で 24.1～26.2℃の範囲にあり、表層は平年より低め、10m は平年よりやや高め、底層は平年より高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.5 ～9.1 mg/L、10m で 0.7～5.2mg/L、底層で 0.1～5.9 mg/L の範囲にあり、表層はやや高め、10m は平年よりやや低め、底層は平年並となっていました。

底層では、三重県の沿岸域に沿って広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差などは小さくなってきていますが、まだ、海水の上下混合が起こりにくい環境にあり、今後もしばらく貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図